

ごあいさつ

区議2期目のほとんどは、コロナ禍の中でした。保健所と医療のひっ迫、感染拡大の中の五輪開催、不十分な給付金や支援金。政治の姿勢があらためて問われました。

「このままでは暮らせない」「子どもの感染が心配」…生活困窮の方からも、共働きの子育て世代からも、多くの切実な声が寄せられました。未知の事態に直面する中で、私は皆さんの声をそのまま区政に届け、それこそが政治を変える力であると再認識しました。

区民にもっと寄り添う区政、憲法を生かした平和づくりを進める政治の実現に、引き続き力を尽くします。

日本共産党 牧野 けんじ

【プロフィール】

江戸川区育ち。東小岩在住。区立鹿骨東小学校・鹿骨中学校・NHK学園高校(通信制)卒。書店勤務を経て区議2期。2015年に区議会で最も早く同性パートナーシップ制度の導入を提案。妻と息子(中学生)と3人暮らし
趣味:鉄道(国鉄色・廃線跡)/城跡めぐり/サッカー観戦(FC東京)



お気軽にご相談ください
牧野けんじ事務所
江戸川区東小岩5-12-18
☎ 03-5876-8765

【活動地域】

西小岩1~5丁目 北小岩1~8丁目
東小岩1~6丁目 南小岩1~8丁目
上篠崎1~4丁目 新堀1,2丁目
鹿骨1,2丁目 谷河内1,2丁目、
春江町1丁目 篠崎1~8丁目
南篠崎1~5丁目 東篠崎1,2丁目
下篠崎町 江戸川1~2丁目

江戸川民報

2022・23年冬号外 発行：江戸川民報社：江戸川区西葛西5-9-6 ☎03-3674-1871
日本共産党江戸川地区委員会は、牧野けんじさんの政策を発表しました。

人間らしく
生きられる未来を



日本共産党



区議会議員

まきの

牧野けんじ

次ページを開いてご覧ください。



人間らしく生きられる未来を
シエンター平等推進の本会議質問6回で論戦をリード
●パートナーシップ制度の制定(2019年)
●江戸川区性の平等と多様性を尊重する社会づくり条例の制定(2022年)
牧野区議は、2015年の初当選以来、一貫して多様な生き方を尊重し、人権が守られる社会、シエンター平等の推進に力を尽くしてきました。区の人権、シエンター平等施策は確実に前進しています。引き続き、さらなる充実をめざします。

いかそう憲法・消費税は5%に

気候危機打開を本気で
省エネ・再エネで原発ゼロ、2030
年までにCO2が60%削減を
核兵器のない世界へ!
と一緒に声をあげましょう。



2022年8月 コロナから区民の命を守る要請書を
斉藤区長に手渡す区議団と原都議。

- ◆水害対策は見通しのある現実的な方法で
◆小岩地区の公園空白地域の解消
◆コミュニティバスの拡充を
◆公営住宅の増設
◆保育士増員、保育内容の充実
◆先生を増やして学校教育の充実



水害からいのちを守る
防災ラジオを希望する人に

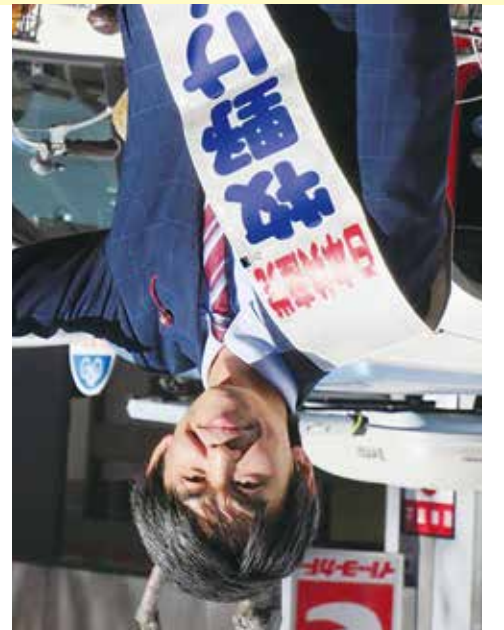
補聴器の購入費補助を拡充

コロナ禍・物価高騰で生活が大変ないまこそ
23区で一番の
ため込み金(基金)
2176億円の
一部を
＜らし・福祉へ＞

ため込み金の1%活用で実現できます

学校給食費を無料に

- 区民の＜らし応援の区政へ
●区独自の生活支援給付金の支給
●奨学金返済で困っている方へ
●補助金制度
●医療と保健所の体制を拡充



牧野けんじは約束します

いのち・くらしを守る あったか 区政へ